

イラスト  
ギャラリー



ティーンズスタッフ：Hi-



～中高生むけ図書館だより～

# OWL NEWS

Vol.22



ティーンズスタッフ：曼珠沙華

2022. 冬号 (2022. 1. 1発行)

## わたしたちのおすすめ本 SP !

『愚者のスプーンは曲がる』  
桐山徹也／著（宝島社文庫）

ある日、超能力者を名乗る2人の人物に拉致された町田瞬。彼らが危険だと語る瞬の能力、それは能力の「無効化」、つまり彼の前では超能力は一切使えないというものらしい。その日から、瞬は超能力者たちの、超能力を使わない争いに巻き込まれていく…。

超能力がテーマなのに超能力は一切出てこない、そんな奇妙な状況でミステリーとしても成り立っていてしかも面白いこの一冊、ぜひ読んでみては？

（ティーンズスタッフ：箱庭）

『天山の巫女ソニン | 黄金の燕』  
菅野雪虫／作（講談社）

才能を見限られ、天山から里に返されてしまったソニン。ある日沙維の国の王子イウォルと出会い、口がきけないはずの彼の声を聞いてしまう。

このことをきっかけにイウォルの付き人となったソニン。罨にはめられ燕にされた王子たちを救うためソニンは冒険に出る！一人の少女の勇気と機知の冒険ファンタジー。

（ティーンズスタッフ：ヤッホー）

『ぼぎわんが、来る』  
澤村伊智／著（KADOKAWA）

新婚生活を営んでいた田原にとある訪問者がきた。その後も田原の周囲に不審な電話やメールが届くようになった。

これらは亡き祖父が恐れた”ぼぎわん“という化け物の仕業なのか？家族を守るため、田原は比嘉真琴という霊媒師に会う。真琴は迫りくる存在が極めて凶暴なものだと知る。果たして、”ぼぎわん“の魔の手から逃れることはできるのか…。

比嘉姉妹シリーズ第1作目。映画とはまた違う恐怖を味わってみてください。

（ティーンズスタッフ：加密列）

『准教授・高槻彰良の推察 | 民俗学かく語りき』  
澤村御影／著 (KADOKAWA/角川文庫)

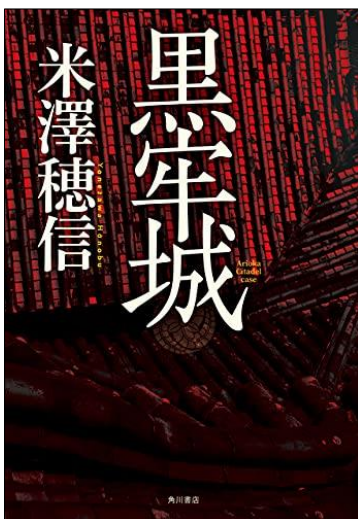


果たしてこの世に「本物の怪異」は存在するのか…？  
完全記憶能力を持つ民俗学の准教授・高槻彰良と幼い頃に怪異を経験したことで嘘が分かる能力を手にしてしまった大学生・深町尚哉の凸凹バディが怪異現象に纏わる事件を解決していく民俗学ミステリー。  
とても読みやすいので通学時などちょっとした時間にサクッと読める！！ミステリー好きはもちろん、普段本を読まないという人にもオススメ！！  
(ティーンズスタッフ：宙)

『硝子の塔の殺人』  
知念実希人／著(実業之日本社)



医師の一条遊馬は患者の神津島が主催するパーティーに呼ばれた。招待されたのは遊馬の他に8人。遊馬はある事情から、神津島殺害を実行した一。  
しかしその翌日パーティーに出席した内の一人が殺された。遊馬は自分の他に犯人がいることを知り、もう一人の犯人に罪をなすりつけるため、その犯人を探すことに一。しかし、物語は予想外の展開を見せていく。  
(ティーンズスタッフ：よしみ)



『黒牢城』  
米澤穂信／著 (KADOKAWA)

本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される。動揺する人心を落ち着かせるため、村重は土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。  
事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに村重は、官兵衛は何を企む。デビュー二十周年の集大成。  
(ティーンズスタッフ：まふらぶ)